

&lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION
-------------------

### ②施設・事業所情報

名称：学校法人初音丘学園PICCOLINO	種別：認可保育所
代表者氏名：薩澤 淑子	定員（利用人数）：43名
所在地：〒240-0016 横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘43-32	
TEL：045-331-3373	ホームページ： <a href="http://hatsunegaoka.ed.jp/">http://hatsunegaoka.ed.jp/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：学校法人 初音丘学園	
職員数	常勤職員：10名 非常勤職員：6名
専門職員	（専門職の名称）：名 看護師：3名
	保育士：16名 管理栄養士：1名
	調理師：1名 幼稚園免許所持者：14名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0歳児室 設備：調理室
	居室：1歳児室 設備：トイレ兼沐浴室
	居室：2歳児室 設備：幼児用トイレ
	居室：お昼寝部屋 設備：職員用トイレ
	設備：多目的用トイレ
	設備：更衣室
	設備：園長室
	設備：事務室
	設備：ランチルーム
	設備：デッキテラス
設備：エレベーター	
設備：園庭	

### ③理念・基本方針

<保育理念>

社会を自分で生き抜く力をつける

<保育方針>

- じょうぶな体 健康で明るい生活が送れるようにする。
- やさしい心 日々の生活を通して思いやりの心、やさしい心を育てる。
- やる気のある子 遊びや様々な事に対して意欲的に取り組み、前向きな気持ちを持つ。
- がんばる子 遊びや学びを最後までやり遂げる気持ちを育てる。

<保育目標>

1. 生活習慣の習得に目を配り、家庭教育の補完に努めます。また、子どもの遊び心を大切に受け止め、心の安定を図ります。
2. 毎日を健やかに過ごし、経験や体験、日々の積み重ねにより自信と意欲を持ち「自分で」・「自分から」という気持ちに寄り添い、心の育ちを大切にします。
3. 保護者や地域の方々と子育ての喜びや楽しさ、悩みを分かち合い子育てを応援していきます。

④施設・事業所の特徴的な取組

<PICCOLINOの特徴的な取り組み>

- 保育所、保育士の自己評価より、様々な意見、要望等を聞き、それに対する改善策や新しい取り組み等を職員で出し合い、話し合いや園内研修の議題とし、よりよい環境作り、遊びの提供、寄り添う保育等が行えるように取り組んでいます。
- 職員の福利厚生充実や、月に一度の半休取得、バースデー休暇取得、時間外労働なし等、保育士の働き方改革をしています。
- 子育て支援事業は年間通して開催しています。(育児支援、交流保育、親子で楽しむクッキング、園内行事に参加、赤ちゃん教室部屋貸し等)。また、今年度4月より子育て支援ハウス(つながりハウス)を設立し、地域の方々が様々な「やりたい事」に取り組めるよう、地域がつながる事が出来るような取り組みを始めています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年09月27日(契約日) ~ 2023年08月03日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	初回(年度)

⑥総評

【PICCOLINO(ピッコリーノ)の概要】

●PICCOLINO(以下、当園という)は、学校法人初音丘学園(以下、法人という)が運営する子育て支援施設です。園名のPICCOLINO(ピッコリーノ)は、イタリア語で「小さい子」「かわいい子」を意味しています。当園は、幼稚園を活用した横浜型保育事業として全国に先駆け、平成9年横浜市認定第1号の幼稚園併設型の横浜保育室として誕生し、平成27年4月には認可保育所へ移行しました。法人は「初音丘幼稚園」・「スカイハイツ幼稚園」2つの幼稚園運営の他、預かり保育・認可保育所「PICCOLINO」・放課後児童クラブ「アフタースクールはつねっ子」を運営し、子育て支援機能を持つ幼児教育機関として、0歳児～12歳までの子どもの教育・保育の機能を活用できる体制を備え、総合的な子育て支援に尽力しています。

●当園は、JR「保土ヶ谷駅」から相鉄バスで「うぐいす橋」下車、徒歩2分の所に位置する「初音丘幼稚園」に併設されています。園舎周辺は、初音ヶ丘の丘陵地帯の緑豊かな環境の中にあり、閑静な一戸建て住宅が広がり、公園も多く点在しています。また、隣接する地域には「初音が丘地区センター」や「初音が丘小学校」があり、子育て世帯も多い地域です。

●当園は定員43名、0歳児～2歳児までの保育を実施し、現在43名の園児が在園しています。園舎は鉄骨造り2階建てのゆとりある造りで、各年齢の保育室の他に、お昼寝部屋、ランチルーム、事務所等を設けています。また、広々とした土の園庭(ゴリラパーク)を有し、埋め込まれた土管は子どもたちの人気スポットになっています。恵まれた環境

の中で、保育士も子どもたちも笑顔が溢れ、「やりたいこと」を十分に楽しむ保育を展開しています。

#### ◇特長や今後期待される点

##### 1. 【優れた環境の中で個性を伸ばす保育】

当園は、0歳児～2歳児までの保育施設ですが、園舎は他に類を見ない設計・規模であり、各年齢別の保育室の他にランチルーム、午睡室等が設定され、子どもたちの生活・遊びを最優先に考えられた造りで、眠くなったら寝る・満足するまで遊ぶ・食べる時間の制限なし等、一日を通してゆったりと過ごせる環境作りが成されています。また、2階建ての特徴を生かし、階段の昇り降りの体験の積み重ねにより身体機能の発達も見込まれています。2代目学園理事長のネーミングから名づけられた「ゴリラパーク」の園庭も必見です。子どもたちの興味・関心を引く土管や草花が配置され、安全な環境の中で子どもたちは、「はいはい」・「かけっこ」・「かくれんぼ」等、探索活動を十分に楽しんでいます。保育では、「子どもたち一人ひとりの育ち」を大切にされた家庭的な雰囲気、職員も子どもたちも笑顔に溢れ、穏やかに過ごしています。全職員で保育内容を話し合い、子どもが自信と意欲を持ち「自分で」・「自分から」という気持ちを大切に受容する保育を実践しています。常に子どもの主体性を尊重し「やりたいこと」が十分にできるように、職員は「待つこと」・「見守ること」を基本とした寄り添う保育を実践しています。子どもの言動や援助方法については、園内研修で学び合い、共通認識を図って対応しています。また、保育実践を学び合うために職員同士で他クラスに入る等、より良い保育内容につなげています。0歳児～2歳児という、心や体の成長・発達の大変な時期の小さな変化を見逃さないように、職員間で連携して保護者との信頼関係作りを努めています。今回の利用者（保護者）アンケートに「個性を尊重している」・「先生同士の報連相が良い」・「外遊びが多い」・「笑顔で通える園」との声が多く寄せられ、満足回答94%と高い評価でした。このように「個性」を大切に伸ばす保育は、保育理念「社会を自分で生き抜く力をつける」につながると言えます。

##### 2. 【アイデア豊富な食育活動】

子どもにとって「食べる」ことは、成長発達に欠かせない重要な要素です。当園では、管理栄養士と保育士2名で食育係を設け、年間食育計画に沿って年齢に応じた食育活動を行っています。園舎の一角にある畑ではジャガイモ・さつまいも・トマト・ピーマン・イチゴ等を栽培して子どもたちが収穫、調理してもらい食べています。嫌いな野菜も自分たちで育てると愛着が湧き、喜んで食べるようです。調査日に昼食を子どもたちと食べました。人見知りで泣かれるかと思ったら、全く平気で全員が落ち着いてよく食べていました。笑顔で手を振る様子も多々見られました。テーブルごとに保育士が付き、必要に応じた介助や見守られていることで、子どもの安心感につながっていると云えます。食材は、旬の新鮮なものを地元の商店から仕入れています。味付け・見た目もよくおいしい給食でした。献立は1か月で設定され、栄養面を考慮したバラエティに富んだ内容になっています。今年度の食育計画では「世界の郷土料理」を紹介していく予定です。毎月の誕生日会では、季節に応じた旬の果物を豊富に使ったオリジナルケーキを手作りで提供しています。その様子はホームページでも紹介され、魅了されます。家庭はもとより、地域の親子向けにクッキングを開催（コロナ禍ではZoomオンライン配信）する等、食育活動を展開しています。今回の利用者（保護者）アンケートでも満足回答率91%と高い評価を得ています。

##### 3. 【地域に根ざす子育て支援】

法人は、0歳～12歳の教育・保育の総合施設として、地域の子育て支援に取り組んで

います。法人の母体である初音丘幼稚園は、創立65周年を迎える歴史ある園であり、当園の2歳児終了後は、初音丘幼稚園へ入園し、幼稚園児が卒園して小学校へ上がった際には、学童保育へとつながっています。幼稚園と保育所の優れた機能の一体化を図り、保護者と共に子育てをしていく、支援、応援していく場としています。そのためのイベントの企画や子育て支援事業（育児講座、交流保育、園庭開放、園行事参加等）を積極的に実施しています。また、当園は横浜市の子育て家庭応援事業「ハマハグ」の認定も受け、地域向けの子育て親子との交流行事を定期的に企画しています。法人としても地域の保護者の困り感を受けて、トイレトレーニングに関する講座「トイトレ」をZOOMで発信する等、気軽に参加でき情報を得られるよう取り組んでいます。今年度、初音丘学園の5番目の施設として、子育て支援施設「つながりハウス」を開設しています。コンセプトは“地域の子育て家庭同士がつながれる拠点（ハブ）として・地域のすべての子育て家庭の親子が気軽に集まれる憩いの場として”です。「つながりハウス」のホームページも開設され、さらなる子育て支援の充実が大きく期待できると言えます。

#### 4. 【人材の確保・育成への取り組み】

当園の現状は、常勤職員の平均年齢が36歳、平均在職期間が9年と安定しています。ただし、法人としては異動・退職を考慮すると、人材の確保と育成が課題のようです。人材確保に向けては、養成校との連携、就職フェア、紹介会社の活用等と共に、施設見学を募り当園の認知度を上げようと取り組んでいます。法人の運営上で最も大切にしたいことに「職員が明るく、楽しく、笑顔で充実した一日を過ごせる職場環境、雰囲気づくり」を掲げ、人員確保と業務軽減等の働き方改革に取り組んでいます。当園では、育児休暇取得率が高く、時短復帰する職員が多数です。調査当日ヒアリングした職員も2日後に産休に入るとのことでした。女性にとって産・育休が取れて、復帰後も気持ちよく働ける職場環境は重要です。人材の安定と育成は、保育内容の向上につながります。今後とも長く勤めていきたいと思える職場づくりに期待します。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：学校法人 初音丘学園 PICCOLINO

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

今回はじめて第三者評価を受審し、時期的に先生たちの忙しい年度末と重なってしまい、グループごとに集まる時間を見つけるのが大変でしたが、少しでも集まれる時間を見つけ、話し合いを積み重ね取り組むことができました。

そんな中で、自分たちの見えていなかった部分の取り組みが明確になり、現在の園の取り組みに何をプラスしていけば良いのか、職員に対して明確に示して行くべき所はどこかが良くわかりました。

（現在のピッコリーノは職員の質の向上の目標設定の把握「期待する職員像」を明確にしていくこと。また、保護者からの意見や苦情等に対しその流れをチャート図で分かりやすく伝えること。指導計画の作成後、子どもの様子に合わせた変更や修正への取り組み等が必要です。）今後、職員と受審結果を踏まえて、意見を出し合い改善へと取り組んで行きたいと思えます。

評価者の方々には分かりやすく、丁寧にお話をいただき、園を現在より尚一層良くするために、共に考えていただきました。今回、受審して本当に良かったと思えます。

ありがとうございました。

《評価後取り組んだ事として》

1. 玄関に意見箱を置き、保護者がいつでも質問や意見が伝えられるようにした。
2. ボランティア、職場体験、実習生の受け入れに対するマニュアルを作成した。
3. 人員確保への取り組みとして、横浜市のコンサルタント事業に申し込みをした。

⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり